

現在のクリーニングロッカーに対する考察

平成30年2月27日

毛利 春 雄

[始めに]

これは、最近見られるクリーニングロッカーに対する考察で、将来AIの発達によりクリーニングのカウンター業務が行えるように思われますが、それまでにはまだまだ解決しなければならない問題が山積みです。

このような問題の端緒となるやも知れないと、クリーニングロッカーについて考察を試みました。

◆結論

ロッカーを、現行のクリーニングの延長線上（店舗の補助作業）で考えるならば、ロッカーのあり方は、受ける側と渡す側を完全に分ける、即ち、別の設備・機能として行うのが効率的だと思います。

[現行ロッカーのメリットとデメリット]

ロッカーの最大のメリットは無人受付ができる事です。ただし、受け付けるのに顧客毎のロッカーを使用していますので、一回のお客様に一ロッカーが必要となり、クリーニングが出来上がり、お引き取りになるまでふさがったままです。

[受付とお渡し]

現在、業界には効率よくポストで受付を行っている業者と、ご依頼のあった商品だけをロッカーでお渡ししている業者がおられます。この業務を行っている方々は一様にこのシステムを評価されています。

◆現行の受け渡しのロッカー [ロッカーの調査]

洗濯屋 L i n d o （福岡・平成29年11月）

・前もってスマホで会員登録を行い、会員ナンバーを取得します。

1. 入口を入ります。（写真1）
2. 券売機で該当する商品のクリーニング券を購入します。（写真2）
3. 購入した券に会員ナンバーと名前を記入します。
4. キーのついたロッカーを開き、専用バッグを取り出します。
5. 商品（ワイシャツ）を専用バッグに入れます。
6. 購入したクリーニング券をバッグの脇ポケットへ入れます。
7. バッグをロッカーに入れ、鍵をかけます。

・商品が出来上がると、スマホに連絡が入ります。

・店舗のロッカーに出来上がった商品が入っています。

※出来上がりには中2日を要します。



写真1 入口



写真2 券売機

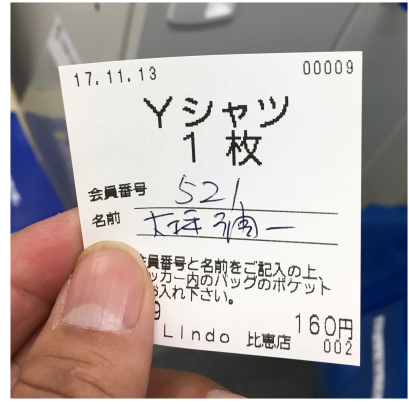


写真3 クリーニング券



写真4 空きロッカー



写真5 商品をバッグへ

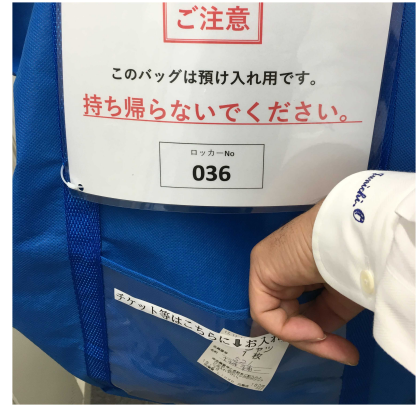


写真6 券をポケットへ